

# りっきょうだいがく にほんごきょういく 立教大学の日本語教育

## 1. にほんごきょういく 日本語教育センター（CJLE）

- (1) 立教大学は、留学生の日本語教育を強化するために 2011年に日本語教育センターを開設しました。立教大学の日本語科目は、日本語教育センターによって運営されています。

## 2. CJLE の日本語教育

- (1) CJLE の日本語教育は、たんに日本語の知識を得ることではなく、それらの知識を「正しい日本語で、スムーズに、正しく使いこなす能力を磨くこと」を目標としています。そのため、正しい日本語を使えていない、瞬時に答えられない、過去に勉強したことがあるが忘れてしまっている場合は、希望するレベルではないクラスに決定するかもしれません。しかし、決定したクラスで真剣に日本語の学習に取り組んでみてください。格段に日本語能力が向上するはずですよ。

# にほんごかもく じゅぎょう 日本語科目の授業

## 1. 学期

- (1) 本学の授業は1年を2学期に分けて行われます。それぞれを春学期,秋学期と呼びます。
- (2) 本年度の各学期の授業開始日は下記のとおりです。  
春学期：2026年4月10日（金）  
秋学期：2026年9月21日（月）

## 2. 授業時間

- (1) 授業時間は下記のとおりです。

時 限	1	2	3	4	5
じゅぎょうじかん 授業時間	8 : 5 0 ∪ 1 0 : 3 0	1 0 : 4 5 ∪ 1 2 : 2 5	1 3 : 2 5 ∪ 1 5 : 0 5	1 5 : 2 0 ∪ 1 7 : 0 0	1 7 : 1 0 ∪ 1 8 : 5 0

## 3. 休講

- (1) 日本語科目では原則として休講はありません。
- (2) 休講は,ホームページや RIKKYO PORTAL から確認することができます。  
日本語 <http://kyomu.ic.rikkyo.ne.jp/~kyuko/cancelK.aspx>  
英語 <https://wwwj.rikkyo.ac.jp/kyomubu/cancel/CancelE.aspx>  
\* 日本語科目の休講を表示するには, COLLEGE のプルダウンメニューから OTHER を選択してください。
- (3) 休講の掲示がないにもかかわらず, 授業開始時間から 30分以上経過しても日本語担当教員が入室しない場合は, 日本語教育センター事務局（池袋キャンパス：マキムホール1階国際センター内, 新座キャンパス：7号館2階国際センター内）に連絡してください。
- |                      |
|----------------------|
| 日本語教育センター事務局連絡先      |
| nihongo@rikkyo.ac.jp |
- (4) 大規模地震の警戒宣言が発令された場合, 台風の接近が予想される場合の休講の措置は 14 ページを参照してください。

## 4. 授業の欠席

- (1) 本学では、学校感染症により出校停止となった場合のみ、所定の申請手続きを行えば欠席扱いとはしません。その他の理由で授業に出席しない場合は欠席となります。

**(いわゆる公欠制度は設けていません。)**

- (2) 学校感染症にかかった場合は大学に来てはいけません。すみやかに下記に連絡し、指示を受けてください。

特別外国人学生の連絡先	
国際センター	
電話	03-3985-2208
メール	rikkyo-inbound@rikkyo.ac.jp

正規学生の連絡先は、所属する学部・研究科の履修要項を参照してください。

### <対象となる学校感染症>

	疾患名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS コロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERS コロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ *上記の他、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症
第2種	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふく）、風しん、水痘（水ぼうそう）、喉頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（医師より登校を控えるよう指示され、かつ学内で重大な流行が起こった場合に感染拡大を予防する観点から学校医が第3種感染症として措置が必要と判断した場合のみ） *学校医による判断は、提出された「登校可能証明書（本学書式）」または診断書によって行います。

- (3) 遅刻や早退は 29分以内とし、それ以上の場合は欠席になります。遅刻や早退を4回すると1回の欠席と同じになります。

## 5. 補講

- (1) J8以外の日本語科目については補講をおこないません。

## 6. 授業でのマナー

- (1) 無断で遅刻や欠席をしてはいけません。あらかじめ遅刻、早退、欠席することがわかっている場合は、事前に担当教員に伝えてください。当日になって遅刻、早退、欠席しなくてはならなくなった場合は、クラスメイトに先生への連絡を依頼するか、担当教員にメールにより連絡してください。
- (2) 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (3) 授業中に理由があって教室を出る場合は、必ず教員に言ってください。
- (4) 食べ物を食べないようにしましょう。何か理由がある場合は、教員に知らせてください。
- (5) 教室の中では、日本語だけで話しましょう。

# にほんごかもく りしゅう 日本語科目の履修

## 1. にほんごかもく りしゅうしかく 日本語科目のクラス・レベル・履修資格

(1) にほんごかもく りしゅう にほんご  
日本語科目には、J0～J8 までの9つのレベルがあり、履修する日本語クラスはプレイスメ  
ントテストの結果（レベル）で決まります。レベルの詳細は下記のとおりです。

クラス レベル	履 修 資 格
J0	日本語学習経験のない学生（あるいは少ない学生）で、買い物やレストランでの注文など日常生活に必要な日本語を学びたい学生向けのコース。日常生活で使用する日本語表現を学びながら、ひらがな・カタカナも学んでいくので、半期しか日本にいないが、日本語という言語がどういふ言語か少し触れてみたい、せっかく日本に留学したので日本語を少し勉強してみたいという学生、あるいは、1年日本にいる学生で、まずはゆっくりひらがな・カタカナや基礎的な日本語を勉強してから、J1 に入りたいという学生に適したレベル。
J1	日本語を学校などで勉強したことはないが、ひらがな・カタカナの読み書きができ、簡単な日本語の表現を知っていて、基礎からきちんと日本語を勉強したい学生、また、日本語を学校などで勉強したことがあるが、動詞・形容詞の基本的活用や助詞の使い方が完全とは言えず、間違いがなくなるようにきちんと完璧に勉強したい学生に適したレベル。
J1S	J1 レベルの内容を部分的に学習したことがあるが、表現や語彙が限られている、または、概ね学習したことがあるが、文型や表現、語彙を正確かつ適切に運用するのが難しいため当該レベルでのさらなる学習が必要だと思われるレベル。
J2	動詞や形容詞の基本的活用ができ、基本的な語彙を 500語程度習得していて、それを使って日本語で話したり、書いたりすることができるレベル。教室での会話、自分の趣味や好きなこと、嫌いなこと、自分の経験、やりたいことなどについて、形容詞・動詞を使って日本語で伝えることができる。また、ひらがな・カタカナ・基本的な漢字を使って書いてある文章を読んで理解できるレベル。
J2S	J2 レベルの内容を部分的に学習したことがあるが、表現や語彙が限られている、または、概ね学習したことがあるが、文型や表現、語彙を正確かつ適切に運用するのが難しいため当該レベルでのさらなる学習が必要だと思われるレベル。
J3	日本語の基礎的な文型や 1,000語程度の語彙を習得していて、日常生活の簡単なことは日本語でコミュニケーションすることができる。日常生活でゆっくりの会話であれば、内容が理解でき、また、自分の言いたいこともある程度伝えられるレベル。

J3S	J3 レベルの内容を部分的に学習したが、表現や語彙が限られている、または、概ね学習したが、文型や表現、語彙を正確かつ適切に運用するのが難しいため当該レベルでのさらなる学習が必要だと思われるレベル。
J4	初級の勉強はすべて終わっており、日常生活のほとんどの場面で日本語で対応できるが、正確に日本語を使ってコミュニケーションするのが難しいと感じるレベル。日本人と普通の会話スピードで会話したり、漢字・仮名交じり文で 800 字程度の作文を書いたりなどがまだ難しいと感じるレベル。
J5	日常生活の場面では、大きな困難や問題はなく概ね適切かつ正確に日本語で対応できるレベル。1,000 字程度の日本語の文章を辞書を使いながら漢字仮名交じりの書き言葉で書くことができるレベル。
J6	新聞、ネット上のニュース記事などをほとんど辞書を使わず、理解することができる。また、自分の興味のあるテーマであれば、1,500 字程度の日本語の文章を辞書を使いながら正確に書くことができるレベル。一般的な事柄についてであれば、自分の意見を日本語で正確に伝えることができるレベル。
J7	新聞や小説はもちろん、論文や本について、ほぼ辞書を使わず日本語で内容を理解することができ、2,000 字程度のレポートを書くことができる。また、学術的な内容も日本語で議論することができ、プレゼンテーションもできるレベル。
J8	高度の文法、漢字、語彙を習得しており、大学における学習・研究が十分日本語で行えるレベル。

(2) 日本語を学ぶだけでなく、日本語を道具として日本の文化や社会を学ぶ下記の科目も開講されています。

科目	履修資格
Japanese Language and Japanese Culture Japanese Language and Japanese Society	J0,J1,J1S,J2,J2S,J3,J3S レベル対象
日本語演習 1 (日本のアニメ,歌)	J2,J2S レベル対象
日本語演習 2 (日本の映画,マンガ)	J3,J3S レベル対象
日本語演習 3 (日本の小説,詩)	J4,J5 レベル対象

(3) J4 レベル以上の学生を対象として、漢字語彙拡充を目的としたクラスも開講されています。

科目	履修資格
漢字	J4, J5, J6, J7, J8 レベル 対象

## 2. 日本語プレイACEMENTテスト

(1) **日本語科目の履修を希望する学生は、日本語プレイACEMENTテストを受けなければなりません。**プレイACEMENTテストでは、漢字・語彙・文法のwebテストと作文の筆記テストと面接を行います。なお日本語を学習した経験がない、または少ない学生にはひらがなのテストを行います。

## 3. 日本語科目の単位

(1) 日本語科目の単位は、下記のように与えられます。  
個々の科目の単位は、p.17~22を参照してください。

時間数	単位
日本語科目（週1回100分, 1学期14週）	1単位 *J8科目は2単位
日本語科目（週3回各100分, 1学期14週） *J0, J1S, J2S, J3S が該当します	3単位

## 4. 日本語科目の履修上の注意

- (1) **プレイACEMENTテストの結果によって指定されたレベル以外の授業を履修することはできません。**また聴講することもできません。
- (2) 学期の途中でレベルを変更することはできません。
- (3) 日本語科目はすべて履修中止制度の対象外です。
- (4) J1~J3 と J1S~J3S は、学期終了時の到達目標は同じですが、授業を進める速さが異なります。
- (5) **J1~J3 は、週5回の授業が運動して進むため、すべての授業を履修しなければなりません。**
- (6) **J0, J1S~J3S は、週3回の授業をすべて履修しなければなりません。**
- (7) J1S~J3S クラスを希望しても、プレイACEMENTテストの結果によっては、J1~J3 クラスを履修することがあります。
- (8) **J4 レベル以上の学生は、プレイACEMENTテストの結果によって決定された授業の中から、希望する授業を履修することができます。**
- (9) J1, J1S の授業は、主に英語によって説明を行います。授業の進行にあわせ、日本語での説明を増やしていきます。
- (10) 総合日本語4-6AとBは同時に履修することが可能です。
- (11) 総合日本語4-6CとDは同時に履修することが可能です。

- (12) 総合日本語 4 – 6 A~D は、J4, J5, J6科目と同時に履修することが可能です。
- (13) 総合日本語 6 – 8 は科目名のアルファベット (A~D) が同じ場合は同一の授業内容です。1学期に履修できるのは、A, B, C, D からそれぞれ1科目です。
- (14) J8-AC (秋学期のみ開講) は J8 の科目ですが、J6・J7・J8 の学生が履修することができます。

## 5. 日本語科目の登録方法

- (1) オリエンテーション資料を確認してください。(特別外国人学生は履修ガイダンス・日本語教育センターのオリエンテーションに出席してください。)

## 6. 科目ナンバリング

- (1) 立教大学は、科目ナンバリング制度を導入しています。科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付与し分類することで、学修の段階や順序等を表し、カリキュラムの体系的性を明示する仕組みです。また、成績証明書には修得科目ごとに科目ナンバリングが記載され、体系的に学習した結果が対外的に証明されます。
- (2) 科目ナンバリングは、アルファベット3文字と数字4文字で構成されています。日本語科目においては、アルファベットと数字の意味は以下のとおりです。

アルファベット (特別外国人学生対象科目)	数 字			
	1000番台	100番台	10番台	1番台
JLP	レベル	分野	技能	授業の言語

### <1000番台>

番号	日本語学習のレベル
0000	J0
1000	J1, J2, J3
2000	J4, J5, J6, J7
3000	J8
4000	-
5000	大学院生対象科目

### <100番台>

番号	日本語学習の分野
100	4技能統合型
200	技能別
300	内容重視型

<10番台>

番号	日本語学習の技能
10	文法, 文法 1
20	文法 2
30	聴解・会話
40	作文
50	読解
60	読解・作文
70	総合

<1番台>

番号	授業の使用言語
0	日本語で行う授業
1	英語で行う授業
2	英語以外の外国語で行う授業
3	その他(バイリンガル授業など)

(3) 各科目の科目ナンバリングは、「日本語科目一覧表」の「科目ナンバリング」欄に示されています。

**\* 「科目ナンバリング」は、履修登録用の「科目コード」ではないので注意してください。**

# 日本語科目の成績評価

## 1. 日本語科目の成績評価

(1) 日本語科目の評価は、出席、授業中に行うクイズ・テスト、授業への参加度、宿題等によって決まります。春学期末・秋学期末に行われる定期試験期間中に試験は実施しません。個々の科目の成績評価方法は講義内容を参照してください。

(2) 成績評価は下記のとおりです。

\* 単位を修得した科目の評価を取り消すことはできません。

<成績の評価>

評価		評価基準	成績証明書 の表示
合格	S 100点～90点	当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる	S
	A 89点～80点	当該科目の目標を十分に達成していると認められる	A
	B 79点～70点	当該科目の目標の基幹部分は達成していると認められる	B
	C 69点～60点	当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる	C
不合格	D 59点～0点	当該科目の目標に及ばない	表示 されない

成績証明書は対外的に発行されるものです。履修した科目のうち、単位を修得した科目の成績評価結果のみが記載されます。

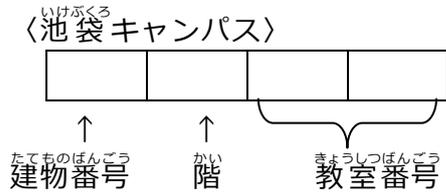
<成績の発表・成績証明書の発行について>

成績の発表	成績証明書の発行		
在学中	在学中	修了時	修了後
3月中旬／9月上旬に <a href="https://r.rikkyo.ac.jp/">https://r.rikkyo.ac.jp/</a> (履修登録システム／ 成績参照システム)で 確認してください。	希望者は教務 事務センターに 申し込んでくだ さい(有料)。 ※日本語、英語と も翌日発行。	4月上旬／9月 中旬に日本語・ 英語各1通を、 原則として、 協定校の担当者 に送付します (無料)。	希望者は教務 事務センターに 申し込んでくだ さい(有料)。

# その他

## 1. 教室番号の見方

(1) 教室番号は、4桁の数字であらわします。それぞれの数字の意味は下記のとおりです。



### 建物番号 早見表

1 = 本館	C = 13号館
4 = 4号館	D = 14号館
9 = 9号館	M = マキムホール
X = 10号館	(15号館)
A = 11号館	T = タツカーホール
B = 12号館	

例) 4411 = 4号館4階11号教室

9B01 = 9号館B階(地階)1号教室

\* 3番目の数字が『5』の場合、別館を指します。

例) 4152 = 4号館別館1階2号教室

### 〈新座キャンパス〉

最初が『N』の場合、新座キャンパスの教室です。



例) N849 = 新座キャンパス 8号館4階9号教室

## 2. 日本語で開講される科目の履修上の注意

(1) 特別外国人学生で、各学部・研究科の専門科目、全学共通科目の日本語で開講される科目を履修する際に必要な日本語能力要件は、原則として日本語プレイスメントテストLv6以上とします。自身の日本語レベルに合致した科目を履修してください。仮に自身のレベル以上の科目を履修する場合にも、特別な配慮はいたしませんので、その点を理解して自己責任で登録をしてください。なお、科目によっては必要な日本語能力要件が異なる場合もあるので、詳細は国際センターがオリエンテーション期間中に配付する特別外国人学生履修可能科目一覧で必ず確認してください。

### 3. 大規模地震の警戒宣言が発令された場合の措置

本学は、大規模な地震の発生が予想され、大規模地震対策特別措置法に基づき地震防災対策強化地域判定会(\*)の招集が確認された場合には授業を休講とし、次の措置をとります。

- (1) 在宅中および通学途中の者は、登校を中止してください。
- (2) 在学中の者は、大学からの連絡および指示に従ってください。
- (3) 警戒宣言解除後の授業の再開については、以下のとおりとします。
  - ① 警戒宣言が午前5時までに解除された場合は、平常どおり授業を行います。
  - ② 警戒宣言が午前9時までに解除された場合は、午前中の授業を休講とし、午後からの授業を行います。
  - ③ 警戒宣言が午前9時までに解除されない場合は、当日の授業を全日休講とします。なお、全日休講の場合は、大学の諸業務(窓口業務を含む)を行いません。

#### \* 地震防災対策強化地域判定会

大規模地震対策特別措置法第3条1項に規定する地震防災対策強化地域に係る大規模な地震の発生のおそれに関する判定を行うために、気象庁長官の要請によって招集される判定会をいう。

### 4. 台風の接近等が予想される場合の措置

台風の接近等により、授業を平常どおり行うことができないと判断された場合は、休講などの特別措置をとります。特別措置の内容については、ホームページまたは電話で確認してください。

立教大学ホームページ

<http://www.rikkyo.ac.jp/>

電話による問合せ先

池袋キャンパス教務事務センター

TEL 03-3985-2220

新座キャンパス教務事務センター

TEL 048-471-6942

独立研究科事務室

TEL 03-3985-3321

\* 試験期間についても前記と同様の措置をとることがあります。

\* 大学の窓口業務、諸施設の利用については、ホームページでお知らせします。